



肥前小便利

ひぜん 通信

長子配布 No.9

令和7年9月9日

文責：校長 渡邊英博

学校目標：ふるさとを愛し、心豊かにたくましく伸びていく肥前っ子の育成

①人を大切にしよう ②全力で学び、全力で遊ぼう ③うんよかよか、どんどん挑戦しよう（失敗は成功のもと）

9月1日（月）に2学期の始業式を行いました！



いよいよ2学期が始まりました。始業式に、校長から3つのことについて話をしました。1つ目は、夏の甲子園で活躍した県立岐阜商業高校の横山温大選手のことです。生まれつき左手の指がない中で努力を重ねられ、強豪校のレギュラーになり活躍されたことを紹介し、「目標に向かって努力することの大切さ」について伝えました。横山選手はインタビューで「いかにみんなと一緒に、変わらずにできるかを意識して、左手以外の部位は、皆に負けないように

鍛えました」「ここで活躍して、自分と同じような境遇の子どもたちにもやればできるんだと教えてあげたいです」と話されています。「肥前小のみなさんも、すぐに諦めず、何とか工夫や努力を重ねてやり抜くことができる人になってくださいね」と話しました。

2つ目は、NHKのドラマ「あんぱん」のモデルになった「やなせたかし」さんのことです。やなせさんは戦争を経験したことで「おなかがすいて苦しんでいる人に食べ物を分けてあげることは逆転しない本当の正義だ」と考えるようになられ、それが「アンパンマン」の生まれるきっかけになったそうです。また、「人生は喜ばせごっこ」という言葉も残されています。「人生にとって一番うれしいことは、みんなが喜んでくれること、人生はよろこばせごっこ」と言われています。「喜ばせごっこ」素敵な言葉ですね。

3つ目は、8月26日の朝刊に掲載された「唐津西高校の生徒が高齢女性を保護し、感謝状をもらわれたこと」です。とっさに判断して人のために行動できる素晴らしい高校生だなあと感じていましたが、何と肥前小学校の先輩であることを教えてもらいました。井上華歩さん、井上知歩さんは納所小出身、山城愛莉さんは田野小の出身です。誇らしいですね。

今回は、話す内容が盛りだくさんになり、時間を取ってしまいましたが、子供たちは真剣に聞いてくれました。2学期もまたのいろいろな行事で活躍してくれることを楽しみにしています。

5年生が稲刈りをしました！

5月15日田野入口バス停側の田んぼに植えた苗が見事に育ち、たわわに実った稲を、8月29日（金）に5年生が刈り取りました。7月には看板まで設置して、稲が育つのを楽しみにしていました。稲刈り当日は良く晴れ、一人ひとり稲刈り鎌を持って辛抱強くすべての稲を刈ることができました。これから、調理実習などで食べるのが楽しみです

今回の活動で、肥前町棚田組合の山下満弘様、宮崎輝男様、向井勝憲様、上野幸利様、上野久幸様に大変お世話になりました。本当にありがとうございました。





サガン鳥栖のウイントスくん和高橋義希さんが肥前小に来られました！

9月3日（水）、登校時のあいさつ運動に、元サガン鳥栖選手であるサガ・リレーションズ・オフィサーの高橋義希さん、サガン鳥栖マスコット「ウイントスくん」が来校され、あいさつ運動をしていただきました。そのあと、お二人と一緒に体育館で、1時間目に、1年生・2年生が「ひぜんふるさとかるた」をしました。2時間目には、4年生がサッカーをしました。元プロサッカー選手と身近に触れ合えたり、プロの技を間近に見せてもらったりして、子供たちも大変喜んでいました。高橋義希さんには、また11月21日（金）のサッカー教室にも来ていただきます。



↑ 1・2年生 「ひぜんふるさとかるた」をしている様子 ↑



↑ 4年生 児童チーム対「高橋さん・ウイントスくん・先生チーム」でサッカーをしている様子 ↑

学校にウォーターサーバーが設置されました！

唐津市内の各学校に1台ずつウォーターサーバーが設置されることになり、8月末に肥前小学校にも設置されました。常温ですが、水道水を浄化し、よりおいしく飲むことができます。水筒の水が無くなった場合は、ここから水筒に水を補充できます。運動会の練習が始まりますので、これから活躍してくれることと思います。

